

令和6年度 霧が丘高等学校 不祥事ゼロプログラムの検証等

○ 課題・目標別実施結果

課 題	目 標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守意識の向上（公務外非行の防止、職員行動指針の周知・徹底）	教育公務員としての自覚を持ち、公務外非行を未然に防止する。	「コンプライアンス意識の醸成」をテーマとした不祥事防止研修会を実施した。また、生徒や保護者からの信頼を保つためには、校務に必要なルールをしっかりと理解して、自分をコントロールすることが必要なことを理解させた。
職場のハラスメント（パワハラ、セクハラ、マタハラ等）の防止	人権に配慮し、職場のハラスメントを未然に防止する。	日ごろから風通しのよい職場づくりを通じて、気にかかる小さなことから注意を喚起し、職場におけるハラスメントが起こる環境を作らないように努めた。
生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止	職員一人ひとりがわいせつ・セクハラ行為の未然防止について当事者意識を持って取り組み、決められたルールを遵守し、生徒に対するわいせつ・セクハラ行為を行っている職員はゼロを目標とする。	不祥事防止研修会で「児童・生徒に対する相談・指導等における留意事項の徹底について」の通知に記載の各種留意事項について触れ、(1)相談・指導における組織的対応、(2)教職員に対する組織的なサポート、(3)適切な情報共有・管理について具体的な説明を行い、教職員の理解促進を図った。
体罰、不適切な指導の防止	生徒の人権を尊重し、体罰や不適切指導の発生を未然に防止する。	「体罰・不適切な指導の防止」をテーマとした不祥事防止研修会を通し、日常的に生徒指導に関する情報交換を密に行うことにより体罰の防止に努めるとともに、生徒の変化に注意を払い、生徒理解に基づいた適切な指導を徹底した。
入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故の防止	入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故を未然に防止する。	「入学者選抜の事故防止」をテーマとした不祥事防止研修会を実施した。Web 出願方式での入学者選抜について全職員で業務の流れを再確認するとともに、県内の過去の事故事例から事故の未然防止を図った。
個人情報等の管理、情報セキュリティ対策	個人情報の流出を未然に防止するとともに、各種情報の管理を徹底する。	年間を通じて朝の打合せ等で個人情報等の管理や情報セキュリティに関する話題を取り上げ、個人情報等の適切な管理のため意識の向上を図った。
交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	交通事故の発生、酒酔い、酒気帯び運転の発生をゼロにする。	年末年始などに朝の打合せ等を通じて、法令を遵守する姿勢をもたせ、交通事故防止、酒酔い、酒気帯び運転防止等を徹底した。

業務執行体制の確保等（情報共有、相互チェック体制、業務協力体制）	業務執行を適正に行い、生徒の進学・就職・奨学金などの出願資格の見落としや書類記載ミスに係る事故を未然に防止する。	日常から管理職を含む教職員間で気になること、ヒヤリとしたりはっとしたりすることなどの情報を共有し、不祥事の未然防止に努める職場環境づくりを目指した。また、「風通しの良い職場づくり」を目的とした不祥事防止研修会を実施し、組織として一定の規律・節度を保ちつつお互いを尊重しながら議論を行い、業務の生産性向上をめざした。
財務事務等の適正執行	学校徴収金運営協議会を適正に行い、県費、私費の適正な執行と会計処理に取り組み、事故を未然に防止する。	財務事務調査指導での指摘事項や指導事項等を参考に、私費会計基準に則った会計処理を励行した。また、学校徴収金運営協議会では保護者の代表に対して学校徴収金に関する決算報告や予算承認、修学旅行取扱業者等の業者選定に係る報告を行い、適正な運営及び執行を図った。

○令和6年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和7年度に取り組むべき課題 (学校長意見)

1 令和6年度の達成状況

不祥事防止については課題と目標を9項目設定し、不祥事根絶に向けて強い決意で取り組み、成果を出すことができた。定例職員会議前の不祥事防止研修会や朝の打合せ等で管理職より不祥事防止に関する注意喚起や不祥事防止に関する通知の徹底を図るとともに、神奈川県教育委員会不祥事防止職員啓発・点検資料のチェックリスト等による意識啓発を行った。

また、日常的な指導により、職員の不祥事防止意識及び生徒指導力向上を図っている。今後も継続的な指導に努めていきたい。

2 令和7年度に取り組むべき課題

不祥事の根絶に向けて令和7年度もこれまでと同様に粘り強く取り組む。県職員としての自覚、法令遵守意識の向上は無論のこと、「法令順守意識の向上」「職場のハラスメントの防止」「生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止」「体罰・不適切な指導の防止」「入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止」については、不祥事防止会議や職員研修等を通して更に効果的な取組を進めていく。

また、日常の業務点検を通して職員意識の一層の高揚と職場環境の整備を図り、R P D C A サイクルに則って今年度のプログラムを補完し、令和7年度における不祥事ゼロプログラムの策定を行う。